# 一般質問（要旨）

## 横田基地周辺の特別注視区域指定について問う

日本共産党昭島市議団　奥村　博　議員

**質問**　土地利用規制法により横田基地の周囲概ね1キロメートルを特別注視区域に指定し、区域内にある土地及び建物の利用に対して調査や規制ができることとなった。①指定が見込まれる区域の実情を把握するために行われた、市への意見聴取の具体的な内容は。②都と周辺市町連絡協議会は、内閣府に対し、土地利用規制法についての住民説明会の実施を求めるべき。

**答弁**　①区域の外縁近傍における地形図に反映されていない道路や、将来の市街化等が見込まれる開発計画に関することなどである。②地域住民や事業者に対し、国の責任において丁寧に説明するよう求めている。

**質問**　介護人材の確保に向け、行政主導で無料の初任者研修の開催や資格取得費用補助を実施する考えは。

**答弁**　都の補助金を活用し研修受講料の補助を行う等、どのような取り組みが効果的で可能か調査・研究する。

**質問**　多くの事業所から移動支援の報酬が低く、ヘルパーの資格に見合う単価ではないとの声がある。単価を引き上げるべき。

**答弁**　関係機関と連携を図る中で、他市の単価の動向や事業所における人材確保の状況等を注視していく。

**質問**　GLP昭島プロジェクトに係る交通課題について、市民の安全確保のため、車両の発生台数を抑制させる物流倉庫の規模の縮小など、踏み込んで事業者へ要請すべき。

**答弁**　車両の発生抑制等の対策が必要との要請を、令和4年11月10日と5年11月24日に事業者に行った。また、事業者も市の意向を一定程度理解しており、出来得る限りの検討をしている。

## 公共施設の適正な保有量と最適な活用について

自由民主党昭島市議団　三田　俊司　議員

**質問**　公共施設の最適な活用について、全ての施設の維持には多額の財源不足が生じることから、市民サービスの維持・向上を前提に、複合化・多機能化に切り替えていく必要があると考える。①社会経済状況が短期間に変化する中、毎年度の予算編成に反映できるよう、特に個別施設計画の施設ごとの見直しを細かく行う考えは。②学校施設を中心とした複合化・多機能化は最も効率的な方法と考えるが、認識は。③総合スポーツセンターなど大型の公共施設を維持・存続させるため、近隣市と共同運用して経費を削減していく考えは。④施設整備の際、一部を民間に貸し出し、賃料収入を得るなど財源を生み出す考えは。⑤水道施設について、管路や配水場の耐震化状況は。また、配水場が被害を受けた際、別の配水場からの配水は可能か。

**答弁**　①一定期間で計画を見直していくが、根底を覆すような財政状況の変化や大きな施設再編が生じた場合は、随時見直しをしていく。②非常に有益であると認識している。学校教育との親和性、教育効果の有無、各学校の改築年次の状況など総合的に勘案しながら、その可能性について検討を進めていく。③有効と考えるが、他市との調整・合意形成など、ハードルが高いと考える。先進事例を参考に調査・研究していく。④民間活力を活かした行政サービスの展開や収入増に向けた取り組みを検討していく。⑤基幹管路の耐震管適合率は75.5％で、配水場は全て耐震化が完了している。また、東部と西部の配水場で相互配水も可能な状況である。

## 請負契約

| | |
|---|---|
| 件名 | 昭島市立昭和中学校除湿温度保持機能復旧工事請負契約 |
| 契約内容 | 契約金額：４４５，５００，０００円<br>工期：本契約成立の日の翌日から令和７年３月24日まで<br>請負業者：株式会社福島工業所 |

| | |
|---|---|
| 件名 | 市民総合交流拠点施設建設工事（電気設備工事）請負契約 |
| 契約内容 | 契約金額：２５７，４００，０００円<br>工期：本契約成立の日の翌日から令和７年８月29日まで<br>請負業者：中央電設株式会社東京支店 |

## 請願・陳情

| 陳情 件名 | 提出者 | 審査委員会審査結果 | 本会議の審議結果 |
|---|---|---|---|
| 地下水100％の水道水を安心して飲み続けるため早急なＰＦＡＳ対策をもとめる陳情 | 地下水100％の昭島の水道水を飲み続けたい市民の会　代表 | 建設環境委員会<br>不採択 | 不採択 |

## 請願・陳情の提出方法

請願等の書式（例）

○○○○に関する請願
（紹介議員がないものは陳情）

請願（陳情）の要旨

紹介議員
○○○○印

年　月　日
（あて先）昭島市議会議長
請願（陳情）者
住所　○○○○
氏名　○○○○印
電話　○○○○

市民のみなさんが、日頃考えている意見や要望を誰でも市議会に提出することができます。

議員の紹介のあるものが請願、ないものが陳情です。

議会に提出された請願等（陳情で内容が請願に適合するものを含む）は、担当委員会で審査されます。

なお、請願・陳情者の署名があれば押印は不要です。

## 会議録をホームページで閲覧できます

会議録検索システムにより、平成７年５月から令和６年１月までの本会議会議録、委員会記録、協議会記録をご覧になれます。パソコン・スマートフォンなどからご利用いただけます。

なお、令和６年第１回定例会の記録は５月下旬に掲載する予定です。

昭島市議会ホームページよりご利用ください。

## 討論

### 地下水100％の水道水を安心して飲み続けるため早急なＰＦＡＳ対策をもとめる陳情を不採択とする委員長報告について

**反対**　日本共産党昭島市議団　奥村　博　議員

多摩地域の市民団体による血中濃度検査で高濃度者が続出している状況等から、市内の汚染の現状把握と汚染源特定を急務とする陳情の指摘は重要である。

住民の不安の解消のために、独自調査を行う自治体もある中、深層地下水100％の水道水を安心して飲み続けるための対策をとってほしいとの切実な要求である。

理にかなった当然の要求であり後押しすべきと考え、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

**反対**　みらいネットワーク　林　まい子　議員

陳情項目はいずれも非常に重要な問題提起と考える。

水源井戸等の調査地点を現状の３か所にとどめず、更なる詳細把握に主体的に取り組むべき。

また、ＰＦＡＳの除去方法の情報収集に努めるとともに、今後規制の可能性のある物質も必要に応じ検査対象として検討すべき。

加えて、国等と連携し汚染の原因究明に努めるべき。

以上の理由から、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。